

『もりおかの短歌』

夏の部 優秀賞十首

やはらかに

なつ なご あめ

夏の名残りの雨がふる

おに てがた お いし

鬼が手形を押ししたる石に

青森県八戸市 木立 徹

青空に

あおぞら

チャグチャグ馬コの鈴響き

うま すずひび

蒼前神社に笑顔の集う

秋田県大仙市 鈴木 仁

啄木の新婚の家

たくぼく しんこん うち

訪ねし日

たず ひ ふうりん おと

いずこともなく風鈴の音

盛岡市 西川 政勝

たくぼく つま

啄木の妻の

せつこ うぶゆあと

節子が産湯跡

がんだいなき ちい まるい ど

岩大内の小さな丸井戸

盛岡市 小林 貴史

わか じぶん かえ まち

もりおかは若き自分に還る町

たくぼく うた

啄木の歌

くちずさ

口遊みつつ

大船渡市 休石 庄太郎

ふるさと かお ただよ いわてさん

故郷の香り漂う岩手山

い かえ

行きも帰りも

おも つの

思い募りて

東京都大田区 折戸 純子

てんぼうしつ ゆび

マリオスの展望室に指さして

つま かよ

夫は通いし

ようちえんさが

幼稚園探す

東京都府中市 舟越 理絵

ふえたい これんしゅう おとぎこ  
笛太鼓練習の音聞えたり

さんさ踊りを おど

思わず踊る おも おど

盛岡市 堀米 公子

しちがつ かぜふ けんちようまえ みち  
七月の風吹く県庁前の道

ちい あお  
小さく青い

とちの実ころがる み

神奈川県川崎市 太田 恵以子

みち き  
道聞けば

いわて なま  
岩手訛りのやさしくて

ほのぼのとゆく啄木の町 たくぼく まち

宮城県仙台市 沼沢 修

夏の部へジュニア部門へ 優秀賞一首

やま かわつ

山の川釣りをしている少年が

しょうねん

いわな つ あ

岩魚を釣り上げ

よろこびのまい

東京都板橋区 西野 鈴

【講評】

一般部門

この度も、岩手山、盛岡の街、啄木の新婚の家、チャグチャグ馬コ、さんさ踊り等盛岡の夏の風情に思いを寄せた歌が多かったですね。啄木の妻節子の生家の産湯の井戸が岩手大学構内植物園の中に残っているのは意外に知られておりませんが、応募の中に二首あったことはよい発見でした。

ジュニア部門

山の川で釣りをしている少年。岩魚を釣り上げて小躍りをしているようすを素直に表現した歌で、目に見えるようです。たいへんよいと思います。これからもどんどん作歌して、すばらしい作品をお示しく下さい。

平成二十九年九月選 夏の部

投稿数 二百十九 首

選者 八重嶋 勲